

入学年度	学部	学科	組	番号	検	フリガナ
						氏名

1 次のそれぞれの式を簡単にせよ。ただし、文字はすべて正とする。

a) $4^{\frac{2}{3}} \times 8^{-\frac{1}{2}} \div 16^{-\frac{1}{6}} = (2^2)^{\frac{2}{3}} \times (2^3)^{-\frac{1}{2}} \times (2^4)^{\frac{1}{6}} = 2^{\frac{4}{3} - \frac{3}{2} + \frac{2}{3}} = 2^{\frac{1}{2}} (= \sqrt{2})$

b) $(a^{\frac{1}{3}} - 1)(a^{\frac{2}{3}} + a^{\frac{1}{3}} + 1) = (a^{\frac{1}{3}})^3 - 1 = a - 1$

c) $(a^x + a^{-x})^2 - (a^x - a^{-x})^2 = a^{2x} + 2 + a^{-2x} - (a^{2x} - 2 + a^{-2x}) = 4$

d) $\frac{\sqrt[4]{a^3} \sqrt[3]{a^2}}{\sqrt[12]{a^{11}}} = \frac{a^{\frac{3}{4}} \times a^{\frac{2}{3}}}{a^{\frac{11}{12}}} = a^{\frac{3}{4} + \frac{2}{3} - \frac{11}{12}} = a^{\frac{6}{12}} = a^{\frac{1}{2}} (= \sqrt{a})$

e) $\frac{(ab^{-\frac{5}{2}}) \div (a^{\frac{1}{4}} b^{-\frac{5}{4}})}{(a^{-\frac{3}{2}} b^{\frac{3}{4}}) \div (a^{\frac{2}{4}} b^{-\frac{1}{2}})} = \frac{ab^{-\frac{5}{2}} \times a^{-\frac{1}{4}} b^{\frac{5}{4}}}{a^{-\frac{3}{2}} b^{\frac{3}{4}} \times a^{-\frac{2}{4}} b^{\frac{1}{2}}} = a^{1 - \frac{1}{4} + \frac{3}{2} + \frac{9}{4}} \cdot b^{-\frac{5}{2} + \frac{5}{4} - \frac{3}{4} - \frac{1}{2}} = a^{\frac{9}{2}} b^{-\frac{5}{2}}$

2 次の数の大きさをくらべよ。 $0.5^4, 0.5^{-3}, 2^{-2}$ 。

$0.5^4 = (\frac{1}{2})^4 = 2^{-4}, 0.5^{-3} = (\frac{1}{2})^{-3} = 2^3$

指数の大きさを比べて $2^{-4} < 2^{-2} < 2^3$

$\therefore 0.5^4 < 2^{-2} < 0.5^{-3}$

3 次の不等式をみたす x の範囲を求めよ。

a) $0.3^x > 0.09$

$0.3^x > (0.3)^2$

$0.3 < 1$ から $0.3^a > 0.3^b \Leftrightarrow a < b$

$\therefore x < 2$

b) $(\frac{1}{2})^{x-1} \geq (\sqrt{2})^x$

$(\frac{1}{2})^{x-1} = 2^{-x+1}, (\sqrt{2})^x = 2^{\frac{x}{2}}$ より

$2^{-x+1} \geq 2^{\frac{x}{2}}$

$-x+1 \geq \frac{x}{2}$

$\frac{3}{2}x \leq 1$

$\therefore x \leq \frac{2}{3}$

4 $\log_2 3 = a$ とするとき、次のそれぞれの値を a を用いて表せ。

a) $\log_4 9 = \frac{\log_2 9}{\log_2 4} = \frac{\log_2 3^2}{2} = \frac{2a}{2} = a$

b) $\log_3 4 = \frac{\log_2 4}{\log_2 3} = \frac{2}{a}$

c) $\log_9 2 = \frac{\log_2 2}{\log_2 9} = \frac{1}{2 \log_2 3} = \frac{1}{2a}$

5 次のそれぞれの式を簡単にせよ。

a) $2^{\log_2 3} = 3$ ($\log_2 3$ は「2 をこれ乗すると 3 になる」数と定義されるから。おぼろげに $x = \log_2 3$ とおくと $2^x = 3$ とする。)

b) $\frac{1}{2} \log_5 3 + 3 \log_5 \sqrt{2} - \log_5 \sqrt[24]{24} = \log_5 3^{\frac{1}{2}} + \log_5 2^{\frac{3}{2}} - \log_5 (3 \times 2^3)^{\frac{1}{24}} = \log_5 \frac{3^{\frac{1}{2}} \cdot 2^{\frac{3}{2}}}{3^{\frac{1}{24}} \cdot 2^{\frac{3}{24}}} = \log_5 1 = 0$

c) $(\log_2 3 + \log_4 9)(\log_3 4 + \log_9 2) = (\log_2 3 + \frac{\log_2 9}{\log_2 4})(\frac{\log_2 4}{\log_2 3} + \frac{\log_2 2}{\log_2 9}) = (\log_2 3 + \frac{2 \log_2 3}{2})(\frac{2}{\log_2 3} + \frac{1}{2 \log_2 3}) = 2 \log_2 3 \times \frac{5}{2 \log_2 3} = 5$

d) $\log_2 8 \cdot \log_{27} 5 \cdot \log_5 3 = \log_2 2^3 \cdot \frac{\log_2 5}{\log_2 27} \times \frac{\log_2 3}{\log_2 5} = 3 \times \frac{1}{3 \log_2 3} \times \frac{\log_2 3}{1} = 1$

6 次の方程式を解け。

a) $\log_{0.5}(x+1)(x+2) = -1$ まず「真数条件」より $(x+1)(x+2) > 0 \Leftrightarrow x < -2$ 又は $x > -1$ ①

$\log_{0.5}(x+1)(x+2) = \log_{0.5} 0.5^{-1} \rightarrow x^2 + 3x = 0$
 $\Rightarrow (x+1)(x+2) = 2 \rightarrow x(x+3) = 0$
 $\Rightarrow x^2 + 3x + 2 = 2 \rightarrow x = 0, -3$ これらは①をみたすのは $x = 0, -3$

b) $\log_3(x-2) + \log_3(2x-7) = 2$

真数条件は $x-2 > 0$ かつ $2x-7 > 0 \Leftrightarrow x > \frac{7}{2}$ ②

$\log_3(x-2)(2x-7) = \log_3 3^2 \rightarrow (2x-1)(x-5) = 0$
 $2x^2 - 11x + 14 = 9 \rightarrow x = \frac{1}{2}, 5$
 $2x^2 - 11x + 5 = 0$ このうち②をみたすのは $x = 5$ のみ

$x = 5$ 【裏に続く】

以下の問題では、必要であれば $\log_{10} 2 = 0.3010$, $\log_{10} 3 = 0.4771$ を用いよ。

7 「過疎現象で、村の人口が毎年1割ずつ減っていくので、このままでは10年経つと村は空っぽになる…」これは正しいか。正しければ証明し、そうでなければ、10年後の人口がどれぐらいに減っているかを求めよ。

10年後に村の人口はもとの $(\frac{9}{10})^{10}$ になるが、これは正の値であり0ではない。したがって村は空っぽになることはない。

(実際に $(\frac{9}{10})^{10}$ を電卓で計算してみると約0.35となる。したがって村の人口はもとの人口の $\frac{1}{3}$ 程度になるに過ぎない)

8 a) 2^{41} は何桁の数か。
b) 2^{41} の最高位の数字を求めよ。

$$\log_2 2^{41} = 41 \log_2 2 \doteq 41 \times 0.3010 = 12.341$$

a) $10^{12} \leq 2^{41} < 10^{13}$ より 2^{41} は13桁の数

b) $12 + \log_2 2 \leq \log_2 2^{41} = 12.341 \dots < 12 + \log_2 3$ より

$$2 \times 10^{12} \leq 2^{41} < 3 \times 10^{12}$$

よって最高位の数は2。

9 体内に入った水銀が体外に排出されて、もとの量の $\frac{1}{2}$ になるには125日かかるといわれている。もとの量の $\frac{1}{10}$ 以下になるには何日かかるか。

x 日後に体内に残る水銀量は、もとの $(\frac{1}{2})^{\frac{x}{125}}$ と表せる。

$$\therefore (\frac{1}{2})^{\frac{x}{125}} \leq \frac{1}{10} \text{ を解けばよい}$$

$$\log_{10} (\frac{1}{2})^{\frac{x}{125}} \leq \log_{10} (\frac{1}{10})$$

$$\frac{x}{125} \times (-0.3010) \leq -1$$

$$x \geq \frac{125}{0.3010} = 415.28$$

416日後に $\frac{1}{10}$ 以下になる

10 座標軸の1目盛りを1cmとして関数 $y = 2^x$ のグラフをかくとき、 x の変域をたとえば $0 \leq x \leq 10$ とすると y の変域は $1 \leq y \leq 2^{10}$ となり、グラフ用紙は y 軸方向について1024cmの長さが必要と考えられる。 x の変域を $0 \leq x \leq 60$ としたとき、グラフ用紙は理論的にはおよそどのくらいの長さが必要か。次のうちから最も近いものを選び、理由をつけて答えよ。

- a) 1km b) 100km c) 地球から月までの距離 (約38万km)
d) 地球から太陽までの距離 (約 1.5×10^{11} m) e) 1光年 (約 9.5×10^{15} m)

2^{60} cm かと「これくらいの長さか」を概算する。単位を m にそろえる。

また $2^{10} = 1024 \doteq 10^3$ であることを用いる

$$2^{60} \text{ cm} = 2^{60} \times \frac{1}{100} \text{ m} \doteq (10^3)^6 \times 10^{-2} \text{ m} = 10^{16} \text{ m}$$

一方、1光年は $9.5 \times 10^{15} \text{ m} \doteq 10 \times 10^{15} \text{ m} = 10^{16} \text{ m}$ であるから

e) の1光年が最も近い。

11 星の見かけの明るさは1等星、2等星、…、など、等級で表す。星の等級と明るさの関係は、次のように対数を用いて表すことができる。 m 等星の明るさを L_m 、 n 等星の明るさを L_n とすると、

$$0.4(n - m) = \log_{10} L_m - \log_{10} L_n$$

が成り立つ。

a) 1等星の明るさは6等星の明るさの何倍であるか。

明るさの比 $\frac{L_1}{L_6}$ を求めればよい。上の式で $m=1, n=6$ とおくと

$$0.4(6-1) = \log_{10} \frac{L_1}{L_6} \Rightarrow 2 = \log_{10} \frac{L_1}{L_6} \Rightarrow \frac{L_1}{L_6} = 10^2 = 100$$

100倍

b) 北極星は2.0等星である。北極星の4倍の明るさを持つ星は何等星となるか。

この星が m 等星であるとするとき、 $L_m = 4L_2$ より

$$0.4(2-m) = \log_{10} \frac{L_m}{L_2} = \log_{10} 4$$

$$2-m = \frac{2 \log_{10} 2}{0.4}$$

$$m = 2 - 5 \log_{10} 2 \doteq 2 - 5 \times 0.3010 = 0.495$$

0.495等星